

有道

2021.1

NO.99

発行 東京都港区西麻布2-21-22
大本山永平寺東京別院
同心閣内 有道会 〒106-0031
(題字・大本山永平寺第八十世
南澤道人大禪師猥下 御染筆)
発行人 釜田隆文

有道会綱領

- 一、宗憲の精神に則り、愛宗護法、兩大本山、特に祖山護持の道念にもとづき、宗団の和合と興隆に尽瘁する。
- 二、広く宗門人の与望に応え、宗政の刷新、進展に邁進する。
- 三、常に本宗の使命達成のため、その発揚具現に挺身する。

謹賀新年



有道会会長
釜田 隆文

令和三年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。両大本山のご隆昌、曹洞宗全国寺院の興隆と会員諸老師の旧年に倍して、万福多幸を心より念じ上げます。

会員各位には平素より有道会の種々諸施策に対して深いご理解とご協力を頂き感謝致しますと共に、本年

大本山永平寺第八十世

南澤 道人 大禪師猥下



を払って頂きますようお願い致します。

さて、大本山永平寺貫首第七十九世福山諦法禪師猥下が昨年九月二十九日に十二年間お守り頂いた猥座を退董され、その後宗制の定めにより副貫首南澤道人老師が、第八十世として猥座に登られたことは前会報にてお知らせ致しましたが、

本年四月二日に晋山式が挙行されるとの事でありまして、ここにあらためまして、新不老閣大禪師猥下に於かれましては御法体堅固にて宗務及び山務のご総覧、四衆ご接化にご高導賜ります

よう会員一同心より冀うものであります。

鬼生田内局も後半の二年に入り、我が会派推薦の新任部長もコロナ禍において、日々業務に励んでおります。

昨年はコロナ感染の影響とはいえ、有道会三政策専門部会を開催する事が適いませんでした。執行部会に於いてもウェブ会議を主とせざるを得ず、顔を合わせたの会議はわずかの開催に留まり、もどかしい限りでありました。

感染症終息の目途が立たないことから、専門部会のウェブでの開催も視野に入

れ、その方途を検討致しているところでありまして。

また、本年十月三十一日付けにて新しい専門僧堂設置基準のもと、各申請専門僧堂に対して認可の可否が決定されます。私は、総長就任時から申しております

「僧堂の隆替は曹洞宗の盛衰に繋がる」という思いを今も強く抱いており、認可後の更なる掛搭僧行履・僧堂の指導者に対する支援等、充実した魅力のある修行が出来る環境作りを推し進めて参りたいと考えております。それを実現させるために有道会内に専門部会を設け検討して行く所存で

代となり、良くも悪くもその影響は免れないことです。

宗議会議員の皆様には

宗門の選良として直接宗

政に参画して頂いておりますが、会員の皆様にも後援者として共に心を注いで問題に当り手を携えて頂いて居る事を有難く存じます。

加えて、現内局が進めております宗制改革に関して

も有道会の三政策専門部会にて研究を重ね、しっかりとした提案をして行きたいと考えております。

年々厳しい状況下にある宗教界であります。僧堂振興や宗制改革、過疎化対策、更には宗門寺院の活性化に有道会議員一丸となつて取り組んでいく所存であります。

何卒諸老師のご指導とご叱正をお願い致しますと共に、皆々様の安寧をご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

す、お互いに当面する問題に立ち向かって共に力を励まし努めて行くことも日々の行持でありませう。

どうぞ今年も御健康に留意されて有道会のため、本山、宗門の為、そしてすべては社会の人々の為に手をつないで努めて頂きたいものです。

合掌

令和三年元旦口宣

令和淑氣尽 乾坤

五色祥雲入 此門

以道相親風月友

扶持大法養 信根

現今は國の内外を問わず大きな課題が茶の間に居る人々にも直面する時

修証義に「日日の行持其の報謝の正道なるべし」と示されて居りま

